

高校生俳句・短歌大会 入賞作品

10代の感性 瑞々しく

俳句

大会大賞

ティーバッグくるくる回る夜の秋

矢花沙織（甲斐清和高3年）

特選

できそこないの私をつつすラムネびん

深沢希実（甲府東高1年）

片かげりパンクを直す老いたる手

雨宮知己（甲府西高3年）

入選

長袖の温かさ知る秋の暮

広瀬まどか（日川高1年）

アルバイト怒り抑えて空高し

村松果恋（中央高2年）

秋風やどこからともなくポリ袋

孫美明希（山梨英和高3年）

佳作

戦いは入道雲の立つ下で

山坂京佑（甲府工高2年）

小テスト蟬よ力を貸してくれ

雨宮愛理（日川高2年）

ひまわりに平均点を付けてみる

渡辺建祥（塩山高1年）

未知未来白雨の中をいざ行かん

内藤百花（山梨英和高3年）

大会大賞

判別式aにあなたを代入しすばやく求めよ恋の交点

内藤響生（韮崎高3年）

特選

冬の朝寒いというのにチャリをこぐいつそチャリが凍ればいいのに

志村彩乃（富士北稜高2年）

私にも猫のしつぽが欲しかったありがとうすら言えない口より

栄木華子（甲陵高1年）

入選

線路の先 夢や希望はあるのかなカムパネルラは死んじゃうんでしょ

片田光風（甲府東高2年）

「強いから君は一人で大丈夫」その優しさが憎たらしいの

河西美穂（山梨英和高2年）

なぜだろういつも俺だけ怒られる母も昔はそうだったらしい

奥秋姫将（都留興譲館高1年）

佳作

ぬくもりを感じるたびに切なくて兎は一人月を見上げる

遠藤羅日（甲府一高2年）

土手の上涙の私と歩くのは夕焼けと不在着信一件

望月章江（甲斐清和高3年）

まっさらに生まれ変わってみたとしてきつと私は君に恋する

有泉 瞳（駿台甲府高2年）

分らないところにいつも付箋はる終わると本に虹が輝く

長島璃奈（山梨英和高1年）